

2018-19年度2019年年頭所感



第2153回例会 2019/1/4 12:30開会点鐘

第2155号 (幹事報告)

会長齊藤重一 1/2ページ

年頭のご挨拶を申し上げます。
改めまして、新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎
えのこととお喜び申し上げます。



ご存知の通り、昨年来、我々を取り巻く環境はま
すます変化の激しい時代を迎え、世界情勢は全く予断の許されない状況
でございます。また、日本国内だけを見ても、少子高齢化問題、雇用問
題、年金問題、教育問題、環境問題、食の安全性、働き方改革など、難
問が山積みであります。まずはこうして無事に新しい年を迎えること
ができたことを感謝する気持ちだけは、大切にしたいと思っております。

もともと正月は、お供えをし、歳神様をまつる儀式でした。今年一年
の豊作と家族の健康を祈るための儀式です。正月を迎えることこそが一
つの区切りであり、昔の人は正月を迎えると、無事に新しい年を迎えた
ことを心から喜び、「数え年」と言って一つの年齢を重ねたものです。

今こうした大変な時代だからこそ、改めて昔からの日本の暮らしの良
さや伝統を見直し、次の世代や100年先の命まで、我々が育ってきた
自然環境や歴史や文化をしっかりと受け継いでいくことが求められてい
るように思えてなりません。

2019年の干支は己亥（つちのとい）であります。己（つちのと）
の年は、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて次の段階を目指
す準備をする年、そして亥（い）の年は、発芽に備えてエネルギーを
貯める時期といわれております。まさに三国ロータリークラブも創立五
十周年に向けて、個人は知識を増やし、精神を育て、組織は人材育成や
設備・財務基盤を固め充実を心がけるとよい年であると思われれます。

おかげさまで三国ロータリークラブ上半期の活動は青少年奉仕のロー
タリーカップ少年野球大会から始まり、四つの奉仕プロジェクト事業、
二つの親睦事業を順調に進めてきました。また、これまでは年度の終盤
の四月か五月に行われていました加賀ロータリークラブさんとの合同例
会は、年度が始まってすぐの八月の三国花火大会に合わせて、加賀ロー
タリークラブの会員様、及びそのご家族の皆様をご招待しました。準備
期間の短い中、理事役員の皆様や、親睦委員さんのお力をお借りしなが
ら、その時にできる最大のおもてなしをさせていただきました。